

飼育日誌



(2019年8月1日～12月31日)

8/6	トナカイ	放牧個体入れ替え(雁来♀・春来♂→ルドルフ♂・元気♂)全頭:暑さの影響が強い一定間隔での冷却が必要となっている。
	ライオン	トモ♀ 採食時、子に対して威嚇。
8/8	ツキノワグマ	忌避剤試験(秋田大学)。
8/12	アムールトラ	カサンドラ♀ 乳首が目立ってきたように見える。
8/13	チンパンジー	ボンタ♂ 夕方、通路下に座り込み動かなかったため、今日も室内展示場に納容する。
8/14	カピバラ	マカロニ♂ 夜ZOOのまんまタイム後に外展示場の台から地面に落下と来園者の通報。ケガ等無し。夜に給餌したリンゴの食い付きも良好。門歯も折れていない様子。
8/16	インドクジャク	人工雛3羽移動。旧病院→クジャク展示場内小屋
8/17	コモンマーモセット	アズキ♀ 体重減で個別管理が必要のため群れから分離
8/18	アフリカタテガミヤマアラシ	チョモ♀ 初放飼、ハルマキ♂ 勃起。
8/23	コツメカワウソ	子どもの鳴き声確認。監視カメラでも大きくなっているのがわかる。巣内の麻袋を交換しようとしたが♂♀に威嚇されたため中止。
8/24	フンボルトペンギン	右黒白♀ 翼帯が翼に食い込んでいたため、新しいものに交換。爪切り、脚裏チェック実施。
	キョン	左右紫:翼帯が1本食い込んでいます。明日交換予定。同居開始・夕方交尾確認(ノゾム♀×コム♀)
8/30	プレーリードッグ	くま♀ 投棄、顎から排膿。
9/10	ライオン	ロー♀ 展示場で左前肢、左後肢に跛行見られる。
9/12	アフリカゾウ	リリー♀ 採食拒否。
9/13	サンショクキムネオオハシ	夜間気温低下のためサッシ全閉、保温球1個点灯。
9/14	ホンドタヌキ	ポコ♀ 左後肢飛節部分に腫れあり。
	ラマ	園内散歩練習。
9/16	アフリカゾウ	だいすけ♂ 疝痛様症状あり。♀残餌多い。周回行動激しい。
	アフリカゾウ	だいすけ♂ 砂便確認、下剤内服。
9/17	レッサーパンダ	ひなた♂ 耳殻内に薄い怪我あり。かんだ♂に囁られた可能性あり。
9/18	カピバラ舎	カピバラ湯っこ試運転
9/19	アフリカゾウ	だいすけ♂ ペニス勃起行動を確認。
9/23	インドクジャク	雛2羽飛び回る。

9/24	アカコンゴウインコ	メレブ♀ 嘴調整
9/25	サル山	追い込みおよび個体識別作業
9/26	シバヤギ	シロ♀ 発情兆候の恋鳴き
9/30	チンパンジー	ジェーン♀ 痰が絡んだ苦しそうなお咳
10/1	トナカイ	雁来♀・春来♂を展示場へ戻した(放牧終了)
10/2	ケヅメリクガメ	ミコ♀ 外展示場で頻りに深い穴掘り。産卵が近いかも
10/3	チンパンジー	同居を中止していた♂J太郎と♂コタロウを寝室No.2とNo.3で数時間お見合い。
10/9	コツメカワウソ	仔 性別判定、体重測定(♂742g)
	アカカンガルー	メス・仔群をふれあいカンガルーひろばに引っ越し
10/11	インコ舎	ガラスサッシ設置作業
10/12	アフリカゾウ	遠赤外線ヒーターON。
10/15	ミーアキャット	1頭がサル舎工事事務所を警戒。
10/18	アフリカゾウ	♂出舎拒否原因調査開始(1週間予定)。
10/20	シフゾウ	数年前から徐々に大きくなっていった左目上の腫瘤落ちていた。右目上の腫瘤も落ちそう。
10/21	アムールトラ	仔 体重チェック。各1kg位増加。
10/30	カナダヤマアラシ	♂糞検査:蛭虫、投棄。
10/31	シュバシコウ	鳥インフルエンザ対策で越冬舎へ移動。
11/6	ニホンアナグマ	朝、動きが少し緩慢。11時頃になると改善される。寒さの影響だと思われるが、要注意。
	コツメカワウソ	だまこ♀ プール底に降り上がれなくなる(麻袋で捕獲し収容)
11/9	トナカイ	ルイ♂ 右角落ちた。両角落下。
11/12	アビシニアコロブス	レイア♀ しっかり子を抱えている。授乳も確認。
	コーンスネーク	シャネル 夕方、脱皮確認。
11/13	トナカイ	元気♂ 角切り(無保定・ノコギリ)
		ルドルフ♂ 左角落角。
11/17	ミシシビアカミミガメ	カメナシ 冬眠開始。 シズカ♀ 冬眠開始。
11/20	アムールトラ	仔 ワクチン接種
	アカカンガルー	サキコ♀ 15:15頃、キーパー通路経由しポニー展示場から園路に脱走。職員がネットで捕獲。カンガルー広場内に放飼後収容。人的被害と動物負傷なし。
11/27	アムールトラ	仔 ブロイラーを採食しているのを確認。
12/4	コツメカワウソ	♂2頭と♀を分離
	アビシニアコロブス	子どもの性別確認。
12/7	イヌワシ	イヌワシ保全棟(両サイド2箇所)冬囲い。イヌワシ第1ペア舎(天井網)銀杏の実除去作業(土嚢袋9袋)。
12/8	ケヅメリクガメ	ミコ♀ 産卵。
12/9	レッドイグアナ	イグ♂ 採食不良。抗生剤投与できず。明日まで経過観察。
	ユキヒョウ	リヒト♂ 採食7回目。
12/13	アメリカビーバー	ルト♂ 収容時入せず。
12/15	ベニコンゴウインコ	餌を嘴同士で受け渡す求愛行動あり。

お客さまの声



- 8/10 養護学校2年生(高校)の息子が毎年楽しみにしている夜の動物園です。来年も楽しみにしています。
- 8/12 子どもが生まれてから、年間パスポートを毎年購入してきています!!夜の動物園やどうぶつパレード大好きです!!
- 9/21 子どもがひよこやモルモットをさわるのが大好きようです。ふれあい体験には喜んで参加しています。
- 10/6 動物フェスティバル、動物パレードが面白かった。一つひとつの動物の紹介があり、とても良かった。ありがとうございます!!
- 10/26 50代くらいの女性が開園直後から閉園間際まで写真撮影をしていました。話しかけたところ、笑顔で「神奈川県から初めて大森山に来て、明日も来園する。」とのことでした。
- 11/2 40年ぶりの訪問でしたが、植物の配置、手入れ、遊具の形状、色彩感等々、すばらしく感動。大人限定の鑑賞ツアーなども面白いのでは?とても楽しい時間を過ごしました。ありがとうございます
- 11/3 ライオンのマンゴー ♀が大きな声で吠えていて迫力があつた。しかも口が臭かった。
- 12/1 ひとりでさみしかったから心の癒やしを求めに来ました。元気が出ました。

かたはた通信



新サル舎工事のため、10月下旬に4種類40頭のサル達が動物病院とサル山管理棟に引っ越ししました。空っぽになったサル舎を見て「がらんと寂しいなあ」と感傷に浸る間もなく解体作業が始まり、旧サル舎は更地になってしまいました。完成予想図で見た新サル舎を今はいまイメージできませんが、工事が進むにつれてワクワク感が高まっていくことでしょう。お客様にはご不便をおかけしますが、新サル舎の完成をお楽しみに!(三浦)

発行/秋田市大森山動物園

〒010-1654 秋田市浜田字湯端154番地 TEL 018-828-5508 FAX 018-828-5509
E-mail ro-inzo@city.akita.lg.jp デザイン・印刷/秋田活版印刷株式会社

●動物取扱業者 秋田市長 穂積 志 ●事業所及び所在地 秋田市大森山動物園 秋田市浜田字湯端154番地
●登録に係る動物取扱業の種別/販売:動-3-41 貸出し:動-3-42 展示:動-3-43
●登録の年月日/2007年6月1日 ●有効期間の末日/2022年7月31日 ●動物取扱責任者/三浦 匡哉、中井 朱、高橋 拓

大森山動物園

検索

<https://www.city.akita.lg.jp/zoo/index.html>